



北杜市埋蔵文化財センターが参加している「縄文王国山梨」は、縄文時代について展示している県内8館のミュージアム（県立考古博物館、県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、韮崎市民俗資料館、富士吉田市歴史民俗博物館、南アルプス市ふるさと文化伝承館、谷戸城ふるさと歴史館、北杜市埋蔵文化財センター）で構成されています。例年、スタンプラリーや巡回イベントを行なってきましたが、今年度は初の試み、バスツアーを実施しました。一日で縄文王国山梨の3館を巡れる、とてもお得なバスツアーです。第3回（最終回）の1月31日（日）には、北杜市埋蔵文化財センターにもバスがやってきました！今回のかわら版では、その一日をレポートします。

(内海)

## コース：

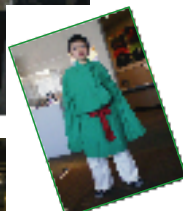
県立考古博物館 → 南アルプス市ふるさと文化伝承館 → 北杜市埋蔵文化財センター



### ① 山梨県立考古博物館

集合場所であった県立考古博物館の見学からスタートです。山梨県内の旧石器時代から明治時代までの歴史について、学芸員が展示を案内しました。バスツアーの参加者は、考古学に興味を持たれている方ばかりなので、皆さん熱心に聞き入っていました。

今回のバスツアーでは、見学だけでなく、各館で体験プログラムを用意しています。考古博では、「古代の衣装を着てみよう」ということで、古墳時代の女官や役人の衣装などを着用いただきました。記念撮影をする頃には、気分はすっかり古代人!?



考古博物館

### ② 南アルプス市ふるさと文化伝承館

鋳物師屋遺跡などを車内から見学しながら、伝承館に到着しました。伝承館に展示されている鋳物師屋遺跡出土の土偶（重要文化財）は、12月15日から2月21日まで東京国立博物館に出張中です。（写真はレプリカ。東京の前は、イギリスの大英博物館に出張していました）

伝承館では、お弁当タイムにも縄文を体験。縄文土器で作った「縄文鍋」（ハマグリ入り！海産物であるハマグリ貝殻が、釈迦堂遺跡で出土しています）と、「縄文クッキー」のおふるまい。どちらも美味しかった！



ふるさと文化伝承館



### ③ 北杜市埋蔵文化財センター

最初に、ギタリストの矢島たかしさんとユニット「アマウツシ」の皆さんによる、「古代の音色コンサート」をロビーで聴きました。ギター旋律と、縄文らしい太鼓や様々なパーカッションの音色、伸びやかな歌声、幻想的な踊り…全てが相まって、縄文の祭祀を思い描けるような公演でした。

コンサートの後は、埋蔵文化財センターの見学。八ヶ岳南麓の縄文時代について解説を聞きました。埋蔵文化財センターでは、人面や動物・植物がついた土器、土偶のテーマ展示もしています。

埋蔵文化財センター



バスの車内でも学芸員の解説があり、内容もりだくさんのバスツアーでした。初めて来館された方には、新しい発見や、他の博物館や遺跡も見学してみたい、という興味を持っていただけたかもしれませんし、以前に来館したことがある方にも、普通の見学では味わえない体験を楽しんでいただけたかもしれません。もし、そうであれば嬉しい限りです。



# かやぶんミニ★ニュース 1月23日(土)蕎麦うち体験



「みんなの畑」では、昨年度から蕎麦作りに挑戦しています。当初からの「いつか蕎麦うちをしたい!」という目標がいよいよ叶いました!今回は二・八蕎麦を作りました。

まずは、鉢の中で蕎麦粉と小麦粉をあわせ、水を加えていきます。そして、指先でホロホロとなるように、よく「ほろげ」ます。そして、だんご状になるまで、まとめていきます。なかなかまとまらなくても、根気よくこねていきます。一人100回近くもこねました!

丸くまとまったら、のし棒でのぼしていきます。1つの方向に3回押しのをぼして引いたら、向きを変えて、同様に3回押しのをぼします。最初は円形だった生地が、この作業をすることで、四角になっていきます。

のし板いっぱいになり生地が広がったら、折って包丁で切っていきます。板を包丁で押しながら、均一の細さに切っていくのは難しいです。蕎麦は乾燥が大敵なので、時間との勝負!

切り終わったら、グツグツ沸いたたっぷりのお湯で、さっと茹でて出来上がり。作りたてのお蕎麦は、コシがあって、本当に美味しかったです!



茹でたてのおそばと、「みんなの畑」で採れたサツマイモなどの天ぷら。

=「ほくと市もっと知ろうカルタ～歴史と文化～」  
最終応募締め切り 3月12日(金)=

★応募期間終了後、採用する絵・読み句の  
選定を行ない、カルタを作成します。

4月には、完成したカルタを、絵・読み句が採用された方や市内の小中学校などにお送りします。

【その後の予定】

4月下旬～5月 「ほくと市もっと知ろうカルタ」展  
@明野歴史民俗資料館

5月初旬 「ほくと市もっと知ろうカルタ」  
カルタ大会(豪華?賞品有り!)

どちらも、詳しいことが決まりましたら、かわら版や「かやぶんニュース」にてお伝えします。



## かやぶんからのお知らせ 新会員さんのご紹介

小泉美津夫さん(北杜市)

茅ヶ岳歴史文化研究所に、新しい会員さんが入会されました。皆様どうぞよろしくお願いたします。

=会員募集=

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

**こんなことをやってみたい人は、ぜひ!**

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金:1000円 年会費:1000円

=編集後記=

次第に春の気配が感じられるようになってきました。計3回行われた「縄文王国山梨 バスツアー」では、どの回もたくさんのお申し込みをいただき、ありがとうございました。また、1月15日(金)には「北杜市 もっと知ろうかるた」の第1次募集が締め切られました。たくさんのご応募、どうもありがとうございました。それぞれに個性あふれる絵札や読み句がたくさんで、選出にも迷ってしまいそうです。完成したカルタでのカルタ大会や、応募作の展示もお楽しみに!

かやぶんかわら版 第58号

平成22年2月22日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310  
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019  
ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>  
E-mailアドレス [info@kaya-net.jp](mailto:info@kaya-net.jp)